

## 令和2年度第4回 聖籠町総合計画審議会 議事要旨

日 時 令和3年3月29日(月) 13:30~14:30  
場 所 聖籠町役場3階 大会議室  
出席委員 鷺見委員(会長)、佐藤委員(副会長)、横井委員、萩原委員、手嶋委員、  
臼井委員、木戸委員、斉藤委員、磯部委員、阿部委員、金山委員、安尻委員、  
石坂委員、鈴木委員、小田委員、宮下委員、本間(栄)委員、神田委員、石橋  
委員、小林委員、本間(敬)委員  
聖籠町 高松副町長  
全体事務局 高橋課長、小林課長補佐、高橋主事、横山主事、大久保主事  
部会事務局 安心安全部会事務局、福祉部会事務局、教育文化部会事務局、産業観光部会事  
務局、行財政部会事務局

次 第 :

- 1 開会
- 2 議事
  - (1) 基本構想の審議について  
前回審議会の意見に対する修正について
  - (2) 素案の審議について
  - (3) 今後の予定について
- 3 閉会

---

### 6 議事

#### (1) 基本構想の審議について

事務局 資料1に沿って説明

会 長 「自然・環境学習や食育などを通じて」のところを、どのように変更したいのか。

総合政策課 「地域の歴史や産業、自然などの学習や食育を通じて、町に関する知識や理解を深める」と修正したい。

会 長 修正について、「地域の歴史や産業、自然などの学習や食育を通じて」と修正。第3章4のⅢの1「事業者間の取引活性化」という言葉を削除。「生産年齢人口が順次老年期に入った」を、団塊の世代に変更。「総合戦略に記載のない」を、総合戦略に加えてという意味合いに変更ということよろしいか。

総合政策課 その通り修正したい。

会 長 文言の修正はこのような形で提案があるということだが、その他気づいた点、前回指摘した点、各章間のつながり等を考えた結果として、気づいた点はあるだろうか。

- 委員 前回、指摘した点については、これでよろしいと思う。
- 会長 大事なものは今後評価していく際に、積み上げた結果として、目標値自体を修正しなければいけないというようなどころがないか、事務局で確認し、整合性が取れている資料になっているか、最新の注意を払っていただきたい。
- 事務局 資料2に沿って説明
- 会長 「総合戦略の基本目標と施策」は参考資料ということでよろしいか。
- 総合政策課 本文の中で参考という形で現在の総合戦略の施策と目標を載せた  
い。
- 会長 文章になるのか。
- 総合政策課 文章に加えて表もそのまま参考として載せたいと考えている。
- 会長 人口対策は今年から始まっており、5年間で見直しということで、1年ずれているため、それを考慮した書き振りに代わる。今後2回ほど事務局とやり取りをする中で、気づいた点があればあげて欲しいが、現時点で確認しておきたい点、気いた点があれば頂戴したい。
- 委員 「学校・地域・家庭の連携による信頼される学校」の「地域、家庭からの支援と学校からの貢献という双方向の活動を行い、地域に信頼される「地域に開かれた学校」に努め、信頼される学校づくりを推進する必要があります。」というところが、今、地域に開かれた学校ということに代わって、「地域とともにある学校づくりを進めるためには地域人材の確保が重要となっています。」ということで、地域とともにある学校に変わっているため、表現を統一した方がいいのか、この流れでいくとそのままでもいいのか確認していただきたい。
- 子ども教育課 地域に開かれた学校について、これは現在の状況として、開かれた学校に努めると記載している。施策の方向や目標としては委員のおっしゃるとおり、地域とともにある学校を目指していきたいと思うため、記載としては、現在の状況と、施策の方向としてはともにある学校と記載している。
- 会長 「地域に信頼される「地域に開かれた学校」に努め、信頼される学校づくり」と「信頼される」が2つつながっているので、読みやすいように整理をご検討いただきたい。
- 委員 資料1基本構想の2つ目が「誰もが幸せに暮らせる社会の実現」に変わったが、それが反映されておらず、まだ「誰もが安心して幸せな暮らしの実現」という古い文言のままになっている部分がたくさんあるので、直していただきたい。また、目次の誰もが安心して幸せな暮らしの実現と安全に暮らせる環境づくりという目次もあわせていただきたい。表紙の素案の下に英語で「The 5<sup>th</sup> Seiro Total Plan」と書いてあるが、マスタープランではないか確認いただきたい。
- 会長 修正部分についてはご確認いただく。英語の表記は確認して修正

をお願いする。

**委 員** 10年間の計画期間ということで、さらに前後期で5年ずつ、また3年間の実施計画を策定して毎年度施策目標の評価を行うとのことで、10年、5年、3年と来ている。3年の場合は、計画を半分に分けると5年あると思うが、残りの2年はどのような形になるのか。この3年と5年と10年の動かし方を教えていただきたい。

**総合政策課** 10年、5年というのは、単純に切り替わると言うこと。実施計画の3年とは、3年の計画を毎年作っていくということ。毎年見直して今年度3年間の計画をつくり、また来年度3年間の計画を作り、上書きをしていく形で毎年3年間の計画を見直しながら作っていく。実施計画3年となっているが、3年間というのは毎年見直して5年間、10年間と並行して動いていくというものになる。

**会 長** 町の施策自体が3年間の単位で動いていると理解してよろしいか。

**総合政策課** 3年ごとに計画を作っていくということ。

**会 長** 毎年施策の評価をされ、その都度見直しをされていくということではよろしいか。

**総合政策課** 今回から毎年目標について評価していくことを考えている。

**会 長** 委員からご指摘いただいた文言についても、施策の進捗管理を行うということで、事務局の方で修正をしていただきたい。町民の皆様がちゃんと理解できるものでないと意味がないと思うので、シンプルにわかりやすく、誤字等がないように努めていただきたい。

**委 員** 以前指摘のあった人口減少対策については本日説明があった通り。中学校までは、広い意味での福祉教育・人づくりの教育をもっと充実させてほしいという意見もある中で、福祉部会で議論しているのは、中学校以降の高校、専門学校、大学等の若者に対する町としてのメッセージや対策が不足しているのではないかという問題意識によるもの。深く詰め切れているわけではないが、高校生から大学生に対するインターンシップを福祉の領域で取り入れて、施設等で実習できるようなものが作れないかと考えているので、また総合計画の人口減少の定義を受けて少しご提案したいと思っている。

**総合政策課** 計画も5年で見直すということなので、基本計画も体制ができたらまた5年後の計画にも載せられればと思う。

**委 員** 時代の潮流の部分を見ると、人口減少の問題や、DXやICTのデジタル化、地球環境問題やSDGsに関連するようなどころもあるし、ライフスタイルというところではニューノーマルな社会をみたらどうかなど非常に現代をとらえて記載されていると思う。

マイナンバーカードの普及率の向上で実績が一ケタ台なものを70%に引き上げるという非常に挑戦的な目標値を盛っているが、特に主要な事業という施策の項目が伴っておらず、どんな工程を考え進捗

についてのPDCをどのようにするのか疑問である。

**総合政策課** マイナンバーカードは、国が3年後くらいには9割くらいを目指しているのに伴い、市町村でもそれに準ずる計画を作りなさいというものがある。現況年度が一ケタで6.6%だったが、その後マイナポイントや定額給付金でマイナンバーカードが使えるようになり、今年度は15%くらいまで上がってきている。70%というのはかなり高い数字だが、町としても今後普及をしていきたい。具体的なものは担当課に確認するが、主要事業が載っていないということについては担当課と事務局の方で検討したい。

**委員** どういうことをやっていくのかが見えないのに数字だけ提起されても困ると思うので、ぜひ検討していただきたい。

併せて、ふるさと納税について記載されていて、主管課が総合政策課ということだが、観光部会等でもふるさと納税を使って観光や物品をセールスしていきたいというようなこともあり、実際には主管課もしくは関連課が増えていくと思われる。その辺について、中身を精査して、追加する課がないかどうかをもう一度見ていただきたい。

**委員** 第5部会で検討したことについては網羅していただいたと思う。第5章で人権の話があるが、人権というものは第5部会でもなかなか統一見解が出ず、実際どういった啓発をしていくのかと少し疑問に感じるが、時代とともに人権のとらえ方も変わるため、このような形でよいと思われる。

**会長** 人権も難しい問題だと思う。マイナンバーカードの普及率は、国ですでにハードルを上げているため、聖籠町がハードルを上げないわけにはいかない。目標をどう達成するかという意識をかなりしつつ、いかに利便性を高めていくのかを部会で議論し、また、財政的な指標もどういった結果としてこういう数字が出たのか試算していただいている。ご指摘のとおり、目標だけ独り歩きして実態が伴っていないと、評価しようがないため、非常に重要なご指摘だったと思う。今一度事務局の方で、どういうプロセスでこの施策目標に到達するのかということをきちんと意識してもらおうと、今後の評価がかなりしやすく、わかりやすくなっていくと思う。ぜひ、ご指摘のところを検討頂ければと思う。工程をしっかりと意識してやっていただくということで、今一度ご確認いただきたい。

**事務局** (資料3について説明)

(文責 総合計画審議会事務局 事後修正する場合があります。)